

平成29年度 事業報告書

(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

本協会は、兵庫県における科学技術振興の中核的機構として、科学技術の振興を通じて県民生活の向上と地域社会の活性化に貢献することを目的として平成4年7月に設立されて以来、県内の研究者を対象とした各種の研究助成事業や、県民を対象とした科学技術の普及啓発事業等公益事業に取り組んできた。

科学技術の総合的な振興については、学術研究への助成を実施し、基礎的・基盤的な研究から産業の高度化に貢献する研究、若手による研究など学術的研究の促進を図った。また、実践的・創造的なものづくり人材の育成に寄与するため、「ロボットコンテスト」に参加する県内工業高等専門学校を支援した。

科学技術の普及・啓発については、一般県民を対象にした「ひょうご科学技術トピックスセミナー」等や、青少年の科学技術に対する興味・関心を高めるための「科学学習体験ツアー」、「科学の祭典」等を開催した。また、県内高校生を対象に理系大学生・大学院生がサイエンスカフェ形式でアドバイスする「サイエンスフレンドシップ事業」を新たに実施した。

地域産業の技術開発力強化・育成については、中小企業等に対する技術相談・指導の実施、技術高度化研究開発助成事業、最先端技術研究事業への参画等により、企業の技術高度化を促進するとともに産学官連携体制の強化を図った。また、地域経済の活性化・強化のため地元商工会議所等と共に各種セミナーを開催したほか、IoTや人工知能の急速な進歩に伴うイノベーションの変革を見据えた「次世代イノベーションセミナー」を開催した。

【理事会開催状況】

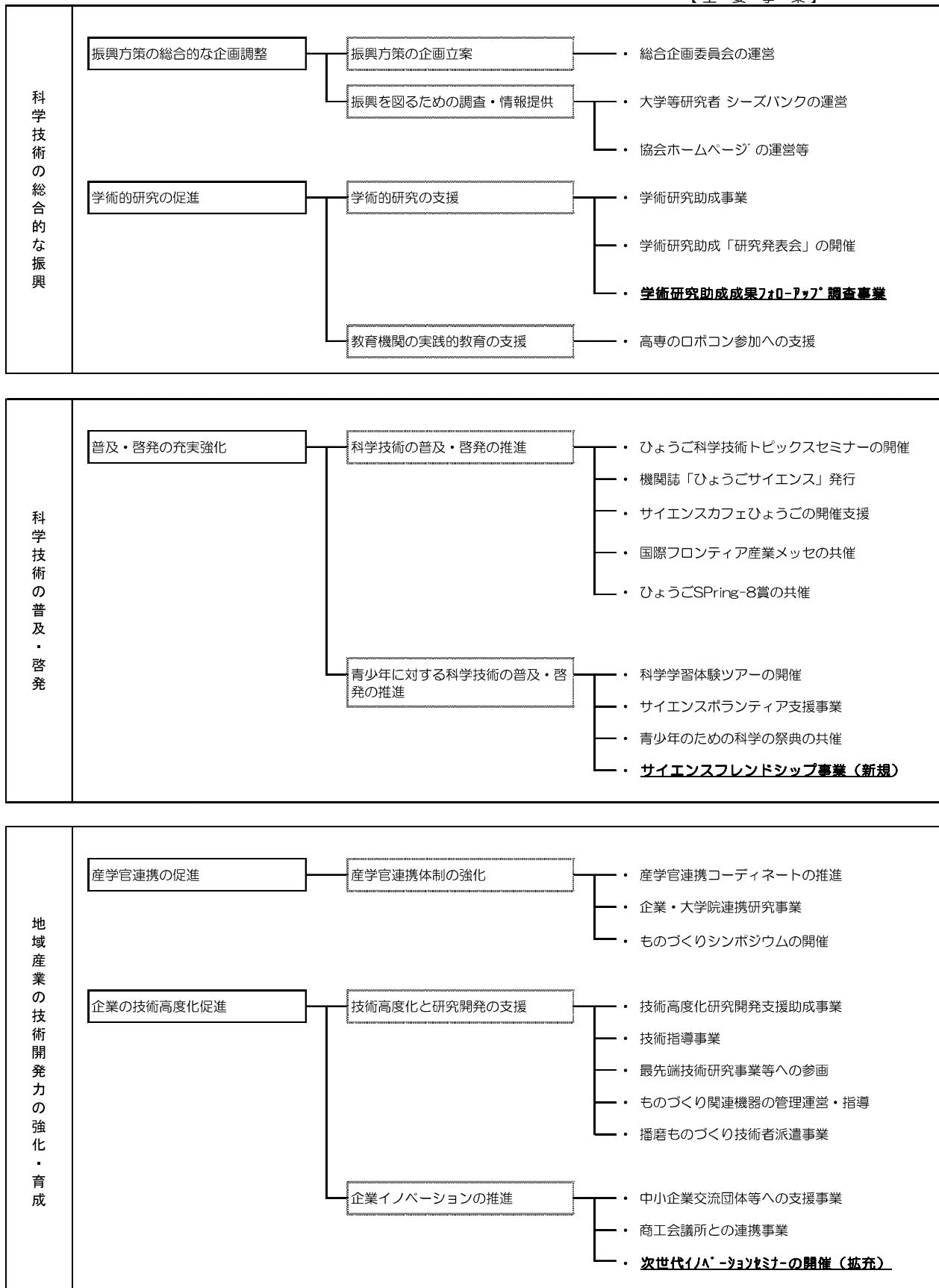
区分	開催年月日	議題
第26回	平成29年6月9日	<ul style="list-style-type: none">平成28年度事業報告の件平成28年度収支決算の件評議員会招集の件
第27回(決議の省略)	平成29年6月30日	<ul style="list-style-type: none">理事長、専務理事の選任の件
第28回(決議の省略)	平成30年1月29日	<ul style="list-style-type: none">評議員会招集の件
第29回(決議の省略)	平成30年1月29日	<ul style="list-style-type: none">理事長選定の件
第30回(決議の省略)	平成30年3月22日	<ul style="list-style-type: none">評議員会招集の件
第31回	平成30年3月23日	<ul style="list-style-type: none">理事長選定の件平成29年度収支補正予算の件平成30年度事業計画の件平成30年度収支予算の件理事会運営規則変更の件
第32回(決議の省略)	平成30年3月30日	<ul style="list-style-type: none">評議員会招集の件

【評議員会開催状況】

区分	開催年月日	議題
第18回	平成29年6月30日	<ul style="list-style-type: none">平成28年度収支決算の件評議員選任の件役員選任の件
第19回(決議の省略)	平成30年1月29日	<ul style="list-style-type: none">理事選任の件
第20回(決議の省略)	平成30年3月22日	<ul style="list-style-type: none">理事選任の件
第21回(決議の省略)	平成30年3月30日	<ul style="list-style-type: none">監事選任の件評議員選任の件役員の報酬の件

平成29年度事業の体系表

【主要事業】



I 科学技術の総合的な振興

1 振興方策の総合的な企画調整

(1) 振興方策の企画立案

ア 総合企画委員会の運営

総合企画委員会のもとに学術研究助成審査委員会を設置し、学術研究助成者の決定について審議を行った。

区分	開催日	審議内容等
学術研究助成審査委員会	2月23日	平成30年度研究助成にかかる審査について

(2) 振興を図るための調査・情報提供

ア 大学等研究者シーズバンクの運営

県内の大学等研究機関の研究開発シーズを調査するとともに調査結果をデータベースに反映し、当協会ホームページを通じて情報提供を行った。

○ひょうご研究機関研究シーズ集HPアクセス件数：1, 998件

イ 協会ホームページの運営等

・ 協会ホームページの運営

協会の活動状況や地域の産業・科学技術等の話題を広くPRするため、ホームページを設け、幅広く情報提供を行った。

○協会ホームページ アクセス件数：1, 339, 669件

・ 「ひょうご研究機関メーリングリスト」の運営

科学技術に関する情報を幅広くタイムリーに提供するため、登録者全員*にメールが配信される「ひょうご研究機関メーリングリスト」の運営を行った。

○参加機関：76団体(152人)※大学・高等専門学校、公設・民間研究機関、研究支援機関、自治体等

・ 「播磨産業技術情報」の発行

播磨地域の産業振興、科学技術等の情報を取りまとめた「播磨産業技術情報」を、ファックス、メールにより県内の企業、関係機関に提供した。

○送付件数：670件（月1回発行）

2 学術的研究の促進

(1) 学術的研究の支援

ア 学術研究助成事業

基礎的・基盤的な研究から産業の高度化に貢献する応用的・実用的な研究及び若手研究者による創造的・萌芽的研究を奨励するため、平成29年度助成対象の研究計画に研究資金を交付するとともに、平成30年度に助成する研究計画の公募・選定を行った。

区分	H29年度助成金交付実績	H30年度助成金公募選定
応募件数	185件	191件
採択件数	35件	35件
助成総額	35, 000千円	35, 000千円

また、平成29年度に助成した学術研究助成について、成果報告書をとりまとめ、当協会ホームページ上に掲載するとともに、国立情報学研究所のデータベースに登録するなど広く一般に公開し、研究成果の普及を図った。

イ 学術研究助成「研究発表会」の開催

平成29年度学術研究助成者に対する「贈呈式」に併せて「研究発表会」を行い、研究者の研究意欲の向上と研究者相互の交流を深めた。

○開催日：5月29日（月）

○開催場所：ラッセホール

ウ 学術研究助成成果フォローアップ調査事業

学術研究助成事業の今後のあり方や研究結果の活用方策について検討するため、これまで助成してきた研究を対象に、研究結果の評価や波及発展の状況及び学術面や生活・産業面への波及効果等について調査を行った。

その結果、世界的に著名な学術書誌(Nature等)に発表、引用されたり、学会等で表彰されたもの等、学術面で高く評価されている研究は多く、また、産業界や大学等との共同研究に発展するなど、生活・産業の高度化に貢献する研究も見られた。

(2) 教育機関の実践的教育の支援

ア 高専のロボコン参加への支援

実践的・創造的なものづくり人材の育成に寄与するため、工業高等専門学校の実践的教育として認知度の高い「アイデア対決・全国高等専門学校ロボットコンテスト」におけるロボット製作費用及び全国大会への旅費を助成した。

支援を受けた神戸市立神戸工業高等専門学校は東京で開催された全国大会に出場し、特別賞を受賞した。

○助成先：国際明石工業高等専門学校 神戸市立工業高等専門学校

○助成額：計800千円

II 科学技術の普及・啓発

1 普及・啓発の充実強化

科学技術への興味・関心を高めるため、科学技術の情報提供やセミナーなどの普及啓発活動を行うとともに、協会の活動を広くPRした。

(1) 科学技術の普及・啓発の推進

ア ひょうご科学技術トピックスセミナーの開催

一般県民を対象に、科学技術の各分野における第一人者を講師に招き、最先端の科学技術をわかりやすく解説する「ひょうご科学技術トピックスセミナー」を開催した。

開催日	内 容	会 場	参加者数
11月23日	「オートファジーってなんだろう ～2016年ノーベル賞の大隅先生と挑んだ21年～」 大阪大学大学院医学系研究科遺伝学教室 栄誉教授、 医学系研究科附属オートファジーセンター長 吉森 保氏	ホテル クラウン パレス神戸	170人

イ 機関誌「ひょうごサイエンス」の発行

協会の活動を一般に広報するとともに、科学技術に関する最新の話題を提供するため、機関誌「ひょうごサイエンス」を発行した。

○発行部数：2,000部(平成30年3月発行)

○配布先：関係企業、関連機関、商工会議所、県内の公共施設・学校等

ウ サイエンスカフェひょうごの開催支援

県民の科学技術に対する興味・関心を高めるため、科学者などの専門家と県民が身近にある喫茶店や大学施設などで、少人数で気軽に科学などについて語り合う「サイエンスカフェひょうご」を大学コンソーシアムひょうご神戸等と共に開催した。

回	開催日	開 催 場 所	参 加 者 数
1	10月7日	神戸地区(神戸市) 甲南大学岡本キャンパス	17人
2	11月18日	阪神地区(西宮市) 甲南大学西宮キャンパス	15人
3	3月10日	神戸地区(神戸市) にしむら珈琲御影店フレンドサロン	10人
4	3月15日	淡路地区(南あわじ市) SODA島の学舎	20人
5	3月17日	北播磨地区(西脇市) 西脇市茜が丘複合施設Miraie	20人
合 計			82人

エ 国際フロンティア産業メッセ2017の共催

兵庫経済をけん引する新産業の創造を推進し、国際的な技術・ビジネス交流を加速させるため「国際フロンティア産業メッセ2017」を関係機関と共に共催した。

また、当協会の支援により技術開発や商品開発に取り組んでいる企業や県内大学・高専に参加を呼びかけ、「ひょうご科学技術協会グループ」として出展し、開発製品や研究内容などを広く発信した。

○開催日：9月7日(木)、8日(金)

○会場：神戸国際展示場1、2号館

○参加者：30, 148人

○グループ出展：17社、9大学・2高専

企 業	(株)井上鉄工所、(株)ガウス、岸本工業(株)、(株)クマガワ、ケニックス(株)、(株)三光システム、三相電機(株)、(株)セシルリサーチ、(株)タクミナ、龍野コルク工業(株)、(株)帝国電機製作所、西日本衛材(株)、(株)日伸電工、パイオニア精工(株)、(株)兵庫コンピュータセンター、(株)ユニバル、(株)ユメックス
大学・高専	関西学院大学、甲南大学、神戸学院大学、神戸芸術工科大学、神戸大学、神戸常磐大学、姫路大学、姫路獨協大学、兵庫県立大学、国立明石工業高等専門学校、神戸市立工業高等専門学校

オ ひょうごSPRING-8賞の共催

大型放射光施設SPRING-8の認識と知名度を高めるため、SPRING-8を活用した研究成果の中から、産業への応用を含め、社会経済全般の発展に寄与することが期待される研究成果をあげた研究者・団体を顕彰する「ひょうごSPRING-8賞」を関係団体と共に実施した。

○受賞者：山重 寿夫（トヨタ自動車(株)基盤材料技術部）

○受賞テーマ：リチウムイオン電池の反応分布その場リアルタイム観察手法の開発とその応用

○第15回ひょうごSPRING-8賞表彰式 日時：8月22日(火)、会場：兵庫県民会館

○受賞記念講演 日時：9月1日(金)、会場：川崎市産業振興会館

(2) 青少年に対する科学技術の普及・啓発の推進

ア 科学学習体験ツアーの開催

青少年の科学学習の推進を図るため、地域の企業・研究機関などを訪問し、製造過程の見学、各種の科学実験や工作を行う「科学学習体験ツアー」を地域の小学生を対象として関係団体とともに開催した。

開催日	内 容	参加者数
8月22日	淡路ものづくり魅力発見ツアー	16組34人

イ サイエンスボランティア支援事業

青少年の科学技術への関心と正しい理解を促進するため、自然科学系の教育者、研究者及びそのOB等が、主として小学校高学年から中学校低学年を対象に、学校、企業、地域で行う実験教室などの科学学習分野におけるボランティア活動に対して、助成金を交付して支援した。

○助成件数：4件

○助成総額：400千円

ウ 青少年のための科学の祭典2017の共催

楽しい科学実験や科学工作などを通じ、子どもたちが自ら体験し、科学に対する興味や関心を高めるため、「青少年のための科学の祭典2017」を県下6会場(豊岡、丹波、東はりま、淡路、姫路、神戸)において関係団体と共に開催した。

開催日	会場		参加者数
7月29、30日	豊岡会場	兵庫県立但馬文教府	903人
7月30日	丹波会場	ゆめタウン「ポップアップホール」	1,069人
8月5、6日	東はりま会場	兵庫県立東播磨生活創造センター	2,304人
8月19、20日	淡路会場	洲本市文化体育館	920人
8月19、20日	姫路会場	兵庫県立大学姫路工学キャンパス	1,877人
8月26、27日	神戸会場	バンドー神戸青少年科学館	5,640人
合計(夏休み時期の土・日曜日に、延べ日数11日開催)			12,713人

エ サイエンスフレンドシップ事業(新規)

県内高等学校に理系大学生・大学院生をアドバイザーとして派遣し、高校生の課外研究活動の支援を行った。また、大学生・大学院生がサイエンスフェアで、研究内容、学生生活の魅力などを高校生にアドバイスするサイエンスカフェを実施した。

(大学生・大学院生派遣)

派遣日	内容	会場	派遣大学生等数
11月28日	課題研究の内容、発表方法等のアドバイス	県立神戸高校	1人
1月27日	県立高校3校の合同研究発表会において発表内容へのアドバイス	甲南大学ポートアイランドキャンパス	5人

(サイエンスカフェ)

開催日	内容	会場	派遣大学生等数	参加高校生数
7月15日	3rd Science Conference in Hyogo	神戸大学統合研究拠点	4人	169人
1月28日	第10回サイエンスフェア in 兵庫	甲南大学ポートアイランドキャンパス	11人	1,114人

III 地域産業の技術開発力の強化・育成

播磨地域の産業活性化と技術高度化を図るため、技術参与や技術アドバイザー等を配置し、大学や公的研究機関等と地域産業の交流・連携を促進し、高度技術の開発又は利用による新事業の創出や新分野への進出を支援した。

1 産学官連携の促進

(1) 産学官連携体制の強化

ア 産学官連携コーディネートの推進

産学官連携の専門人材を配置し、大学等の研究機関の研究開発シーズと企業の研究開発ニーズのマッチングのサポートや産学連携による共同研究のコーディネートを推進するなど、産学官の連携を促進した。

○主な内容

兵庫県最先端技術研究事業（旧COEプログラム）採択に向けた産学官の連携促進
技術高度化研究開発支援助成事業採択に向けた産学官の連携促進
その他競争的資金獲得に向けた相談、技術開発のための産学官連携にかかる相談

イ 企業・大学院連携研究事業

県内大学の大学院生の資質向上や県内企業の活性化、技術の向上を図るため、大学院生が行う県内企業との産学共同研究を支援した。

- 助成件数：6 大学、13 件
 ○助成総額：3,000 千円

大学名	企業名(所在地)	研究課題	大学院生名	指導教官(専攻)
関西学院大学	日本精機 宝石工業㈱ (新温泉町)	脳活性化に向けた高周波対応レコードカンチレバーの開発	塚原隆太 (物理学専攻 博士前期1年次)	鹿田真一教授 (先進エネルギー ナノ工学専攻)
甲南大学	㈱ダイセル (姫路市)	光切断リンカーとペプチドを用いた皮膚感作性分析用アレイの作製	南野祐樹 (生命化学専攻 修士1年次)	臼井健二准教授 (生命化学専攻)
	㈱ビーテンド (神戸市)	機械学習を用いたTwitterからの多次元感情抽出方法に関する研究	秋山和寛、貝塚圭一 (知能情報学専攻 修士1年次)	灘本明代教授 (知能情報学専攻)
神戸大学	ヤエガキ発酵 技研㈱ (姫路市)	機能性食品素材の生医工学用材料化に関する研究	小園雄大(応用化学 専攻2年) 他5名	大谷亨准教授 (応用化学専攻)
	㈱カン研究所 (神戸市)	肺臓がんの肝転移抑制剤の探索研究	角井祐介 (保健学専攻 博士前期1年)	堀裕一教授 (保健学専攻)
神戸学院大学	㈱LANDMADE (神戸市)	珈琲豆の焙煎過程で生じる雑味成分の同定	タンキンイ (栄養学専攻 修士1年次)	石井剛志准教授 (栄養学専攻)
姫路大学	タミワ玩具㈱ (加西市)	唾液アミラーゼ活性値を用いた重度発達障害児に適した発達支援玩具の開発	梶浦由佳 (看護学研究科 修士1年)	牛尾禮子教授 郷間英世教授 (看護学専攻)
兵庫県立大学	大和薬品㈱ (姫路市)	超音波応答性高分子の開発	斎鉱平 (応用化学専攻 博士前期2年)	遊佐真一准教授 (応用化学専攻)
	㈱ユメックス (姫路市)	準大気圧ヘリウムアークプラズマ装置の特性評価と材料表面改質に関する研究	奥村卓也 (電気物性工学専攻 博士前期1年)	菊池祐介准教授 (電気物性工学 専攻)
	㈱兵庫精密 工業所 (加東市)	ファインバブル切削油材の切削特性に及ぼす効果、作用機構の解明	白石雅弥 (機械工学専攻 博士前期1年)	奥田孝一教授 (機械工学専攻)
	(有)ハイテック (姫路市)	酸化被膜を利用したチタン製歯科補綴物の試作品開発	小川裕也、白石智大 (材料・放射光工学 専攻博士前期2年)	三浦永理准教授 (材料・放射光工学 専攻)
	赤穂化成㈱ (赤穂市)	CO ₂ 削減とバイオ燃料生産性強化を狙った珪藻の油脂代謝機構の研究	山崎瑠依 (ビコバロジー専攻 博士前期2年)	菫子野康浩准教授 (ビコバロジー専攻)
	ハマックス㈱ (姫路市)	耐熱合金製クラッド容器の新しい成形技術の開発	大野宏人 (機械工学専攻 博士前期1年)	原田泰典教授 (機械工学専攻)

ウ ものづくりシンポジウムの開催

ものづくり技術の最新技術を提供するとともに、播磨地域の産学官連携の活性化を図るため、「姫路ものづくり支援センター」(姫路市、姫路商工会議所) 及び「はりま産学交流会」と共催で、「ものづくりシンポジウム2018」を開催した。

開催日	内 容	会 場	参加者数
2月22日	講演① 「水素社会の実現に向けた最新動向について」 岩谷産業株上級理事 中央研究所 副所長 繁森 敦 氏 講演② 「燃料電池自動車MIRAIの開発と水素社会実現に向けたチャレンジ」 トヨタ自動車株 Mid-size Vehicle Company MS製品企画 チーフエンジニア 田中 義和 氏	姫路商工 会議所	187人

2 企業の技術高度化促進

(1) 技術高度化と研究開発の支援

ア 技術高度化研究開発支援助成事業

播磨地域に事業所を有する中小企業等が、新分野進出や新事業創出を図るために取り組む新技术・新製品の研究開発事業を公募、選考し、助成金を交付した。

○助成件数：4件

○助成総額：5,000千円

企 業 名	所在地	研 究 課 題
ガウス株	相生市	高い透光性を有する歯列矯正用部材(ブラケット)の開発
マルイ鍍金工業株	姫路市	鉄鋼材の電解研磨によるバリ取り加工技術と量産化装置の開発
(株)理創化研	姫路市	「低温アイロン式」クセ毛伸ばしパーマの新技術とパーマ液の開発
龍野コルク工業株	たつの市	健康寿命を延伸する、着衣式-姿勢サポートクッションの開発

イ 技術指導事業

播磨地域の中小企業が抱える多種多様な技術課題について速やかに対処・解決するため、機械や化学などの専門家を技術参与やシニアアドバイザーとして配置し(各1名)、企業訪問や電話などによる技術相談・指導を行った。また、企業ニーズと大学等のシーズとのマッチングを支援することにより、产学共同研究の推進を図った。

相談・指導内容	件 数
精密微細加工技術関連	45件
ロボット関連技術	9件
ITエレクトロニクス機械金属技術関連	187件
健康・医療、食品等技術関連	88件
環境・エネルギー技術関連	40件
その他	53件
合 計	422件

ウ 最先端技術研究事業(旧COEプログラム推進事業)等への参画

企業の新技術や新製品開発を目的として、産学官連携による共同研究プロジェクト等を構築し、最先端技術研究事業へ代表機関として応募するとともに、採択されたプロジェクトを効果的に進めるためにコーディネートを行った。

プロジェクト名	主な参画企業・機関
「睡眠時無呼吸症候群」診断・回避のための次世代非拘束型医療装置の開発（2年目）	(株)クマガワ、パイオニア精工株、鳥取大学、(独法)国立病院機構姫路医療センター
次世代半導体表面構造を高品質形成制御する超小型専用装置の開発（2年目）	ケニックス株、岸本工業株、九州大学
電力安定供給に資する「高輝度LED光による海洋生物の革新的な固着防止装置」の開発	(株)セシルリサーチ、神戸大学

エ ものづくり関連機器の管理運営・指導

兵庫ものづくり支援センター播磨の管理運営の委託を受けて、走査型電子顕微鏡等ものづくり関連機器の管理運営及び技術指導を行った。特に、平成29年度は、走査型電子顕微鏡の機種更新を行い、新規機器の講習会を回数を拡大して実施した。

▪ 開放型ものづくり機器と設置場所

機 器	設 置 場 所
・3次元CAD/CAEシステム ・流体解析システム ・走査型電子顕微鏡(X線分析装置付)	播磨産業技術支援センター
・CNC3次元座標測定機 ・3次元モデル切削加工機 ・3次元形状計測装置 ・表面性状(粗さ)測定機	兵庫県立ものづくり大学校

▪ 開放型ものづくり機器 講習会(セミナー)

講習会名	「走査型電子顕微鏡(X線分析装置付)」講習会
開催日	6月27日～10月26日（8回）
参加者数	延べ37人

▪ 開放型ものづくり機器の利用相談・指導

製品開発の構想・企画から製造・検査まで「先進的ものづくり」を担うコンピュータ支援の3次元CAD/CAEシステムや3次元座標測定機、走査型電子顕微鏡等の各種ものづくり機器について、隨時、その利用相談・技術指導を行った。

○利用相談・指導件数：156件

オ 播磨ものづくり技術者派遣事業

「ものづくり県・兵庫」を長年にわたり支えてきた企業OB技術者を技術アドバイザーとして登録し、そのアドバイザーを播磨地域の中小企業に派遣し、企業が直面する技術的な課題の効果的な解決を図った。

事業実施にあたり、(公財)新産業創造研究機構、姫路ものづくり支援センター(姫路市、姫路商工会議所)、兵庫県立工業技術センター、NPO法人産業人OBネットとネットワークを構築するとともに、(公社)兵庫工業会とも密接な連携のもとで展開し、多種多様なニーズに対応した。

○派遣件数：3社

(2) 企業イノベーションの推進

ア 中小企業交流団体等への支援事業

「はりま産学交流会」が実施する「創造例会」等を共催すると共に、21世紀播磨科学技術フォーラムなどの中小企業交流団体等が播磨地域の産業技術高度化を図るために実施する講演会・研修会等、技術交流に係る各種事業を支援した。

▪ はりま産学交流会事業の支援(共催)

開催日	内 容	会 場	参加者数
4月21日	平成29年度定時総会・特別講演会	姫路商工会議所	98人
5月19日	創造例会(1)(兵庫県立大学、鳥取大学、近畿大学)	姫路商工会議所	85人
6月16日	創造例会(2)(大阪府立大学、関西大学、神戸学院大学)	姫路商工会議所	66人
7月14日	視察研修(大阪方面) (関西大学イノベーション創生センター見学会)	—	19人

開催日	内 容	会 場	参加者数
8月25日	創造例会(3) (兵庫県立大学、鳥取大学、神戸学院大学)	姫路商工会議所	57人
9月8 ～9日	視察研修(広島方面) (カイハラ㈱、イームル工業㈱、㈱三宅、万田発酵㈱)	—	13人
10月20日	創造例会(4) (大阪府立大学、神戸学院、近畿大学、明石高専)	姫路商工会議所	63人
11月17日	展示でチェンジ (神戸産学官交流会、播磨国際協議会との合同交流事業)	兵庫県立大学 姫路工学キャンパス	25人
2月22日	ものづくりシンポジウム2018(再掲)	姫路商工会議所	187人

▪ 21世紀播磨科学技術フォーラム事業の支援(協賛)

開催日	内 容	会 場	参加者数
7月27日	第53回セミナー・交流会	姫路商工会議所	70人
1月23日	第54回セミナー・交流会	姫路商工会議所	61人

▪ その他

当協会の各種事業の紹介及びこれらの成果等の普及啓発を図るため、下記のセミナー・シンポジウムに参画した。

事 業 名	内 容
兵庫県立大学 「知の交流 シンポジウム2017」	・開催日:9月19日(火) ・会場:神戸商工会議所 ・主催:同シンポジウム実行委員会(兵庫県立大学、兵庫県企業庁、兵庫工業会、ひょうご科学技術協会、神戸商工会議所等) ・後援:兵庫県、ひょうご産業活性化センター、NIRO、兵庫県商工会議所連合会等 ・内容:県立大学による一般講演(6件)、企業等から特別講演(3件)など
ものづくりのための シミュレーション実習	・開催日:10月5日(木)、6日(金) ・会場:姫路商工会議所 ・主催:姫路市 ・後援:兵庫県立大学、姫路商工会議所、ひょうご科学技術協会、姫路経営者協会等 ・内容:CAEに関する講演、SOLIDWORKS Simulationを用いた実習
企業・大学・学生 マッチング in HIMEJI 2017	・開催日:11月17日(金) ・会場:兵庫県立大学姫路工学キャンパス体育館 ・主催:姫路商工会議所、兵庫県立大学、姫路市、兵庫県中播磨県民センター ・後援:近畿経済産業局、姫路市、姫路経営者協会、ひょうご科学技術協会等 ・内容:姫路市内の企業の製品・技術展示、コマ大戦、大学の研究シーズ発表会、産学連携事例の成果発表会
中小企業 中堅技術者向け ものづくり力 向上セミナー	・開催日:2月1日(木) ・会場:兵庫県立大学産学連携・研究推進機構セミナールーム ・主催:姫路地域産学官連携事業実行委員会 ・後援:ひょうご科学技術協会、姫路経営者協会、はりま産学交流会 ・内容:A I活用画像認識技術とその応用に関するセミナー
先端技術セミナー 2018	・開催日:3月13日(火) ・会場:イーグレひめじ ・主催:兵庫県立大学高度産業科学研究所 ・共催:兵庫県立大学産学連携・研究推進機構 ・後援:姫路市 ・協賛:ひょうご科学技術協会、兵庫工業会等 ・内容:基調講演、招待講演、高度研・企業による研究発表、学生ポスター発表

事業名	内 容
次世代水素触媒 共同研究センター 平成29年度シン ポジウム	<ul style="list-style-type: none"> ・開催日：3月15日(木) ・会場：じばさんびる ・主催：兵庫県立大学 ・共催：ひょうご科学技術協会 ・後援：兵庫県、姫路市、姫路商工会議所、新産業研究機構、兵庫工業会等 ・内容：基調講演、研究センターによる研究発表
ものづくり 支援制度紹介 セミナー	<ul style="list-style-type: none"> ・開催日：3月19日(月) ・会場：姫路商工会議所 ・主催：姫路ものづくり支援センター ・後援：近畿経済産業局、ひょうご科学技術協会、兵庫県中播磨県民センター等 ・内容：経済産業省、兵庫県、ひょうご科学技術協会、姫路市の補助制度紹介等

イ 商工会議所との連携事業

地域経済の活性化、企業の技術高度化の促進を図るため、播磨地域の商工会議所と共同し、生産現場の改善などをテーマとしたセミナー、研修会などを行った。

実施団体	開催日、内容等	参加者数
姫路商工会議所	次世代イノベーションセミナー(全4回) <ul style="list-style-type: none"> ①8月30日「人工知能が社会やビジネスに与えるインパクト」 ②10月3日「人と機械が協調する先端ものづくり時代」 ③10月24日「今、製造現場で求められるロボットとは」 ④12月7日「医療機器産業におけるビジネスチャンス」 	延べ273人
龍野商工会議所	モノづくり現場力強化研修(全5回) <ul style="list-style-type: none"> ①9月13日「モノづくり現場力強化の進め方」 ②9月20日「モノづくり、ヒトづくり、組織づくり」 ③9月26日「IoT時代の技術伝承とポカミス防止策」 ④10月3日「5S・見える化の仕組みづくり」 ⑤10月10日「現場力を發揮するボトムアップ改善の進め方」 	延べ62人
赤穂商工会議所	<ul style="list-style-type: none"> ・10月24日「ものづくり製造現場研修会」 ・11月29日「ものづくり製造現場改善におけるヒューマンエラー(ゼロ)対策」 	延べ48人

ウ 次世代イノベーションセミナーの開催

IoTや人工知能(AI)の急速な進歩に伴い、ビッグデータの解析などを含めたイノベーションのあり方に大きな変革が生じている。また、オープンイノベーションやクラウドソーシングなどの手法が研究開発・技術開発に取り入れられている。このような変革を見据え、成長産業分野である「健康・医療」、「ロボット」など最新情報を含めた次世代イノベーションに関する情報を播磨地域の企業に提供するため、セミナーを開催した。

開催日	内 容	会 場	参加者数
8月30日	人工知能が社会やビジネスに与えるインパクト	姫路商工会議所	77人
10月3日	人と機械が協調する先端ものづくり時代	姫路商工会議所	62人
10月24日	今、製造現場で求められるロボットとは	姫路商工会議所	78人
12月7日	医療機器産業におけるビジネスチャンス	姫路商工会議所	56人
合 計			273人

貸借対照表

平成30年3月31日現在

(単位:円)

科 目	当年度(A)	前年度(B)	増減(A-B)
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	67,349,011	55,198,000	12,151,011
未収金	24,724,667	36,080,958	▲ 11,356,291
前払金	77,598	71,190	6,408
流動資産合計	92,151,276	91,350,148	801,128
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
国債公債	100,040,000	100,040,000	0
投資有価証券	99,960,000	99,960,000	0
基本財産合計	200,000,000	200,000,000	0
(2) 特定資産			
科学技術振興基金	768,339,060	768,339,060	0
播磨産業活性化基金	950,000,000	950,000,000	0
什器備品	2	2	0
減価償却引当資産	6,634,182	6,634,182	0
特定資産合計	1,724,973,244	1,724,973,244	0
(3) その他固定資産			
投資有価証券	5,614,760	5,614,760	0
什器備品	355,886	133,353	222,533
ソフトウェア	0	0	0
電話加入権	601,720	601,720	0
その他固定資産合計	6,572,366	6,349,833	222,533
固定資産合計	1,931,545,610	1,931,323,077	222,533
資産合計	2,023,696,886	2,022,673,225	1,023,661
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	5,204,836	3,606,365	1,598,471
預り金	201,669	133,858	67,811
賞与引当金	1,622,209	1,545,399	76,810
流動負債合計	7,028,714	5,285,622	1,743,092
負債合計	7,028,714	5,285,622	1,743,092
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
補助金	2	2	0
寄附金	1,828,339,060	1,828,339,060	0
指定正味財産合計	1,828,339,062	1,828,339,062	0
(うち基本財産への充当額)	(200,000,000)	(200,000,000)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(1,628,339,062)	(1,628,339,062)	(0)
2. 一般正味財産			
(うち基本財産への充当額)	188,329,110	189,048,541	▲ 719,431
(うち特定資産への充当額)	(0)	(0)	(0)
正味財産合計	2,016,668,172	2,017,387,603	▲ 719,431
負債及び正味財産合計	2,023,696,886	2,022,673,225	1,023,661

正味財產增減計算書

平成29年4月1日から平成30年3月31日まで

(単位：円)

科 目	当年度 (A)	前年度 (B)	(単位：円) 増減(A-B)
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	2,086,231	3,212,490	▲ 1,126,259
特定資産運用益	31,336,329	33,311,525	▲ 1,975,196
事業収益	4,490,053	4,892,922	▲ 402,869
受取交付金	67,480,940	67,177,260	303,680
受取補助金	12,000,000	13,000,000	▲ 1,000,000
雑収益	115,163	110,833	4,330
経常収益計	117,508,716	121,705,031	▲ 4,196,315
(2) 経常費用			
事業費			
役員報酬	108,831,848	111,147,449	▲ 2,315,601
給料手当	2,240,000	2,560,000	▲ 320,000
賞与引当金繰入額	16,790,463	16,466,629	323,834
福利厚生費	1,306,888	1,138,000	168,888
会議費	6,122,039	6,248,515	▲ 126,476
旅費交通費	364,153	355,817	8,336
通信運搬費	2,793,325	2,572,139	221,186
什器備品費	783,412	766,133	17,279
消耗品費	114,480	298,954	▲ 184,474
減価償却費	942,426	958,840	▲ 16,414
印刷製本費	107,514	80,010	27,504
広報宣伝費	1,372,572	1,369,278	3,294
燃料費	472,500	472,500	0
光熱水料費	31,429	37,103	▲ 5,674
賃借料	277,482	257,432	20,050
保険料	4,248,641	4,912,722	▲ 664,081
諸謝金	32,230	32,230	0
租税公課	4,370,806	5,794,236	▲ 1,423,430
支払負担金	4,000	1,000	3,000
支払助成金	4,619,960	5,207,111	▲ 587,151
委託費	55,298,280	56,086,804	▲ 788,524
雜費	6,385,795	5,366,353	1,019,442
管理費			
役員報酬	9,671,298	9,928,614	▲ 257,316
給料手当	1,280,000	1,280,000	0
福利厚生費	2,084,324	2,141,794	▲ 57,470
会議費	318,688	346,337	▲ 27,649
涉外費	29,930	23,880	6,050
旅費交通費	41,279	6,104	35,175
通信運搬費	183,988	146,180	37,808
消耗品費	320,482	198,613	121,869
印刷製本費	178,703	176,247	2,456
光熱水料費	119,340	131,976	▲ 12,636
賃借料	120,524	111,631	8,893
保険料	1,050,731	960,271	90,460
租税公課	38,960	43,700	▲ 4,740
支払負担金	69,600	77,250	▲ 7,650
委託費	435,430	425,430	10,000
雜費	3,006,184	3,454,359	▲ 448,175
経常費用計	393,135	404,842	▲ 11,707
	118,503,146	121,076,063	▲ 2,572,917

科 目	当年度 (A)	前年度 (B)	増減(A-B)
評価損益等調整前当期経常増減額	▲ 994,430	628,968	▲ 1,623,398
基本財産評価損益等	0	40,000	▲ 40,000
特定資産評価損益等	275,000	78,000	197,000
投資有価証券評価損益等	0	0	0
評価損益等計	275,000	118,000	157,000
当期経常増減額	▲ 719,430	746,968	▲ 1,466,398
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益	0	2,212,896	▲ 2,212,896
その他収益	0	2,212,896	▲ 2,212,896
前期損益修正益	0	2,212,896	▲ 2,212,896
経常外収益計	0	2,212,896	▲ 2,212,896
(2) 経常外費用			
什器備品除却損失	1	1	0
什器備品除却損失	1	1	0
その他損失	0	1,098,455	▲ 1,098,455
前期損益修正損	0	1,098,455	▲ 1,098,455
経常外費用計	1	1,098,456	▲ 1,098,455
当期経常外増減額	▲ 1	1,114,440	▲ 1,114,441
当期一般正味財産増減額	▲ 719,431	1,861,408	▲ 2,580,839
一般正味財産期首残高	189,048,541	187,187,133	1,861,408
一般正味財産期末残高	188,329,110	189,048,541	▲ 719,431
II 指定正味財産増減の部			
返還金	0	▲ 150,000,000	150,000,000
返還金	0	▲ 150,000,000	150,000,000
一般正味財産への振替額	0	▲ 1	1
当期指定正味財産増減額	0	▲ 150,000,001	150,000,001
指定正味財産期首残高	1,828,339,062	1,978,339,063	▲ 150,000,001
指定正味財産期末残高	1,828,339,062	1,828,339,062	0
III 正味財産期末残高	2,016,668,172	2,017,387,603	▲ 719,431

正味財產增減計算書內訳表

平成29年4月1日から平成30年3月31日まで

(单位·田)

科 目		公益目的事業会計					合計		
		調査研究事業	学術研究支援事業	普及啓発事業	共通	技術振興事業	小計	法人会計	内部取引消去
特定資産評価損益等				12,500	250,000	262,500	12,500		275,000
投資有価証券評価損益等		0	0	0	0	0	0		0
評価損益等計		▲ 2,382,874	▲ 47,864,599	▲ 16,141,838	73,950,773	▲ 9,264,626	▲ 1,703,164	983,734	▲ 719,430
2. 経常外増減の部									
(1) 経常外収益							0		0
その他収益							0		0
前期損益修正益		0	0	0	0	0	0		0
経常外収益計		0	0	0	0	0	0		0
(2) 経常外費用									
什器備品除却損失		0	0	0	0	0	0		1
什器備品除却損失							0		1
その他損失					0	0	0		0
前期損益修正損		0	0	0	0	0	0		0
経常外費用計		0	0	0	0	0	0		1
他会計振替額							▲ 1		▲ 1
当期経常外増減額		▲ 2,382,874	▲ 47,864,599	▲ 16,141,838	73,950,773	▲ 9,264,626	▲ 1,703,164	983,733	▲ 719,431
一般正味財産増減額		▲ 12,676,099	▲ 313,611,233	▲ 81,205,065	448,977,846	62,628,167	104,113,616	84,934,925	189,048,541
一般正味財産期末残高		▲ 15,058,973	▲ 361,475,832	▲ 97,346,903	522,928,619	53,363,541	102,410,452	85,918,658	188,329,110
II 指定正味財産増減の部							0		0
返還金							0		0
一般正味財産への振替額		0	0	0	0	0	0		0
当期指定正味財産増減額		0	0	0	0	0	0		0
指定正味財産期末残高		0	0	0	0	0	0		0
III 正味財産期末残高		▲ 15,058,973	▲ 361,475,832	▲ 97,346,903	962,098,149	1,003,363,543	1,491,579,984	525,088,188	0 2,016,668,172

財務諸表に対する注記

1 重要な会計方針

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法

有価証券の評価基準は原価法であり、評価方法は総平均法である。

(2) 固定資産の減価償却の方法

什器備品の減価償却方法は、定額法で行っている。

(3) 引当金の計上基準

職員の賞与の支給に備えるため、支給見込み額のうち当事業年度負担額を計上している。

(4) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式によっている。

2 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
国債公債	100,040,000			100,040,000
投資有価証券	99,960,000			99,960,000
小 計	200,000,000	0	0	200,000,000
特定資産				
科学技術振興基金	768,339,060			768,339,060
播磨産業活性化基金	950,000,000			950,000,000
什器備品	2			2
減価償却引当資産	6,634,182			6,634,182
小 計	1,724,973,244	0	0	1,724,973,244
合 計	1,924,973,244	0	0	1,924,973,244

3 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産 からの充当額)	(うち一般正味財産 からの充当額)	(うち負債に対応 する額)
基本財産				
国債公債	100,040,000	(100,040,000)	(0)	—
投資有価証券	99,960,000	(99,960,000)	(0)	—
小 計	200,000,000	(200,000,000)	(0)	—
特定資産				
科学技術振興基金	768,339,060	(678,339,060)	(90,000,000)	—
播磨産業活性化基金	950,000,000	(950,000,000)	(0)	—
什器備品	2	(2)	(0)	—
減価償却引当資産	6,634,182	(0)	(6,634,182)	(0)
小 計	1,724,973,244	(1,628,339,062)	(96,634,182)	(0)
合 計	1,924,973,244	(1,828,339,062)	(96,634,182)	(0)

4 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
特定資産			
什器備品	2,454,900	2,454,898	2
その他固定資産			
什器備品	1,381,755	1,025,869	355,886
ソフトウェア	3,896,865	3,896,865	0
合 計	7,733,520	7,377,632	355,888

5 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益は次のとおりである。

(単位：円)

種類及び銘柄	帳簿価額	時価	評価損益
26回兵庫県住宅供給公社債	100,000,000	—	—
27回兵庫県住宅供給公社債	100,000,000	—	—
31回兵庫県住宅供給公社債	150,000,000	—	—
第8回三菱UFJ信託銀行社債(劣後特約付)	200,000,000	224,120,000	24,120,000
第3回野村ホールディングス期限前償還条項付社債(劣後特約付)	100,000,000	105,378,800	5,378,800
愛知県平成22年度第8回公募公債	100,000,000	119,228,600	19,228,600
第6回大阪府公募公債	99,980,000	119,865,700	19,885,700
愛知県・名古屋市折半保証第104回名古屋高速道路債	100,000,000	119,130,000	19,130,000
静岡県第11回20年公募公債	80,000,000	94,955,840	14,955,840
埼玉県第10回20年公募公債	100,000,000	119,980,000	19,980,000
堺市平成22年度第1回公募公債	99,980,000	120,380,000	20,400,000
京都府平成22年度第3回公募公債	99,980,000	120,769,500	20,789,500
愛知県平成22年度第14回公募公債	100,000,000	122,338,000	22,338,000
京都市第9回公募公債	100,000,000	122,580,000	22,580,000
第136回利付国債	197,562,000	237,869,000	40,307,000
オランダ水道金融公庫ユーロ円債	100,000,000	134,061,000	34,061,000
第144回利付国債	100,771,000	118,040,000	17,269,000
合 計	1,928,273,000	1,878,696,440	300,423,440

6 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は次のとおりである。

(単位：円)

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上の記載区分
補助金						
兵庫県C.O.Eプログラム推進事業費補助金	兵庫県	2			2	指定正味財産
兵庫県最先端技術研究事業費補助金	兵庫県	—	12,000,000	12,000,000	—	—
交付金						
科学技術振興事業交付金	兵庫県	—	67,480,940	67,480,940	—	—
合 計		2	79,480,940	79,480,940	2	—

7 指定正味財産からの一般正味財産への振替額の内訳

指定正味財産からの一般正味財産への振替額の内訳は次のとおりである。

(単位：円)

内 訳	金 額
経常収益への振替額	0
合 計	0

附 屬 明 細 書

1 基本財産及び特定資産の明細

基本財産及び特定資産の明細は、財務諸表に対する注記2「基本財産及び特定資産の増減額及びその残高」に記載しているため、省略する。

2 引当金の明細

(単位：円)

科 目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
賞与引当金	1,545,399	1,622,209	1,545,399	0	1,622,209

財産目録

平成30年3月31日現在

(単位:円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額
(流動資産)	現金預金	普通預金 三井住友銀行姫路支店、姫路信用金庫本店 当座預金 姫路信用金庫本店 定期預金 三井住友銀行姫路支店、姫路信用金庫本店 野村證券（株）ほか計28件 兵庫県職員互助サービス（有）	運転資金として 運転資金として	8,925,795 12,863,216 45,560,000 24,724,667 77,598
	未収金 前払金			
	流動資産合計			92,151,276
(固定資産)	国債公債	国債、埼玉県債	基本財産は、共用財産（うち公益目的保有財産50%、管理目的のために使用する財産50%）で、満期保有目的で保有。運用益を公益目的事業共通（50%）及び管理（50%）目的のために使用。	100,040,000
	投資有価証券	兵庫県住宅供給公社債		99,960,000
	基本財産合計			200,000,000
特定資産	科学技術振興基金 国債公債 その他投資有価証券 外国債券 定期預金 科学技術振興基金合計	国債、大阪府債、堺市債、愛知県債、京都市債、名古屋高速道路債 野村ホールディングス社債、兵庫県住宅供給公社債2件 オランダ水道金融公庫ユーロ円債 三井住友銀行姫路支店	科学技術振興基金は、共用財産（うち公益目的保有財産50%、管理目的のために使用する財産50%）で、満期保有目的で保有。運用益を公益目的事業共通（50%）及び管理（50%）目的のために使用。	479,395,240 188,900,000 100,000,000 43,820 768,339,060
	播磨産業活性化基金 国債公債 その他投資有価証券 播磨産業活性化基金合計	国債3件、京都市債、京都府債、愛知県債、静岡県債 三菱UFJ信託銀行社債、野村ホールディングス社債、兵庫県住宅供給公社債2件	播磨産業活性化基金は、公益目的保有財産であり、満期保有目的で保有。運用益を技術振興事業のために使用。	594,253,000 355,747,000 950,000,000
	什器備品	マルチ水質計ほか計2件	公益目的保有財産であり、技術振興事業に使用。	2
	減価償却引当資産	兵庫県住宅供給公社債3件 普通預金（三井住友銀行姫路支店）	資産取得資金のための財産	4,393,000 2,241,182 1,724,973,244
	特定資産合計			
その他 固定資産	投資有価証券 国債公債 その他投資有価証券 什器備品 電話加入権 その他固定資産合計	国債2件、京都市債 姫路信用金庫出資証券 デジタルビデオカメラほか計4件	満期保有目的で保有し、運用益を技術振興事業のために使用。 当座貸越契約締結に伴う出資 管理目的及び技術振興事業のために使用する財産 管理目的のために使用する財産	5,584,760 30,000 355,886 601,720 6,572,366
	固定資産合計			1,931,545,610
	資産合計			2,023,696,886
(流動負債)	未払金 預り金 賞与引当金	兵庫県ほか計50件 源泉所得税、住民税、社会保険料		5,204,836 201,669 1,622,209
	流動負債合計			7,028,714
	負債合計			7,028,714
	正味財産			2,016,668,172